

重信川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、重信川水系においても、中下流域の広大な扇状地への拡散型の氾濫、急流河川である重信川の水位上昇に伴う支川の氾濫が発生する水害特性からも、事前防災対策を進める必要があることから、河川整備や、支川の氾濫対策として雨水貯留施設等の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成13年6月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図

四国森林管理局
森林整備・治山対策等【森林】

森林整備センター
森林整備【森林】

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防漏水対策、局所洗掘対策、河道掘削、引堤
- 雨水貯留施設等、排水施設の整備【下水】
- 排水機場の耐水化等【下水】
- 利水ダム等4ダムにおける事前放流の実施、体制構築（関係者：国、愛媛県、道後平野土地改良区、ほか）
- 砂防施設の整備
- 民間事業者や住民による流出抑制対策への支援【下水】等

■被害対象を減少させるための対策

- 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動
- 不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- 立地適正化計画の推進【都市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 簡易型河川監視カメラ・危機管理型水位計の設置
- 想定最大規模等に対応したタイムラインの作成、訓練等
- 近隣市町との広域避難に関する調整及び避難経路の検討
- 地域住民に切迫感が伝わる情報提供方法の検討
- 水害教育の実施
- 水防団との共同点検等の実施
- 要配慮利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 排水活動の強化
- ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

■グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ

堤防漏水対策

雨水貯留施設、排水施設の整備

大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動

近隣市町との広域避難に関する調整及び避難経路の検討

凡例

- - - : 市町村界
- : 流域界
- : 直轄区间
- : 浸水範囲 (計画規模)
- : 河川対策
- : 直轄砂防区域

※具体的な対策内容については、今後の調査、検討等により変更となる場合がある。
※本対策箇所は主要箇所のみ記載しています。

重信川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

- 重信川では、中下流域の広大な扇状地への拡散型の氾濫、急流河川である重信川の水位上昇に伴う支川の氾濫が発生する流域の特徴から、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 被害ポテンシャルの高い箇所の重大災害の発生を、未然に防ぐため、堤防漏水対策に加え、雨水貯留施設等、排水施設等の流域対策を実施。

【中期】 下流左岸ブロックの浸水被害の解消のため、堤防漏水対策を実施。支川御坂川においても河道掘削・引堤を完了させる。

【長期】 残る堤防漏水対策を全て完了させ、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防漏水対策、局所洗掘対策	松山河川国道事務所	下流右岸 ↓ 下流左岸		上流左右岸
	河道掘削・引堤	愛媛県	上井出堰まで	↑ 上流左右岸	
	利水ダム等4ダムにおける事前放流の実施、体制構築	松山河川国道事務所・四国土地改良調査管理事務所・道後平野土地改良区・伊予郡西部町土地改良区・愛媛県・松山市			
	砂防施設の整備	四国山地砂防事務所・愛媛県		砂防施設整備の継続	
	森林整備、治山対策等【森林】	四国森林管理局・森林研究・整備機構森林整備センター中国四国整備局・愛媛県			
	雨水貯留施設等、排水施設の整備【下水】	松山市・東温市 松前町・砥部町	箇井地区排水路、雨水貯留施設の完了 塩谷地区雨水排水対策施設の完了 高尾田地区雨水排水対策施設の完了		
	民間事業者や住民による流出抑制対策への支援【下水】	松山市・東温市			
被害対象を減少させるための対策	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説	愛媛県			
	立地適正化計画の推進【都市】	松山市・伊予市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	想定最大規模等に対応したタイムラインの作成、訓練等	松山河川国道事務所・愛媛県・気象台 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	近隣市町との広域避難に関する調整及び避難経路の検討	松山河川国道事務所・愛媛県 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	地域住民に切迫感が伝わる情報提供方法の検討	松山河川国道事務所 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	排水活動の強化	松山河川国道事務所 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
グリーンインフラの取組	湿地の再生、連続性の回復	松山河川国道事務所		↑ リバースポート、サイクリングロード等の整備	
	重信川かまちづくり	松山河川国道事務所 松山市・東温市・松前町・砥部町			
	流域関係者とのフォーラムの開催(環境・防災)	松山河川国道事務所 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町等			

■事業規模

河川対策（約129億円）
砂防対策【国】（約105億円）
下水道対策（約53億円）

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

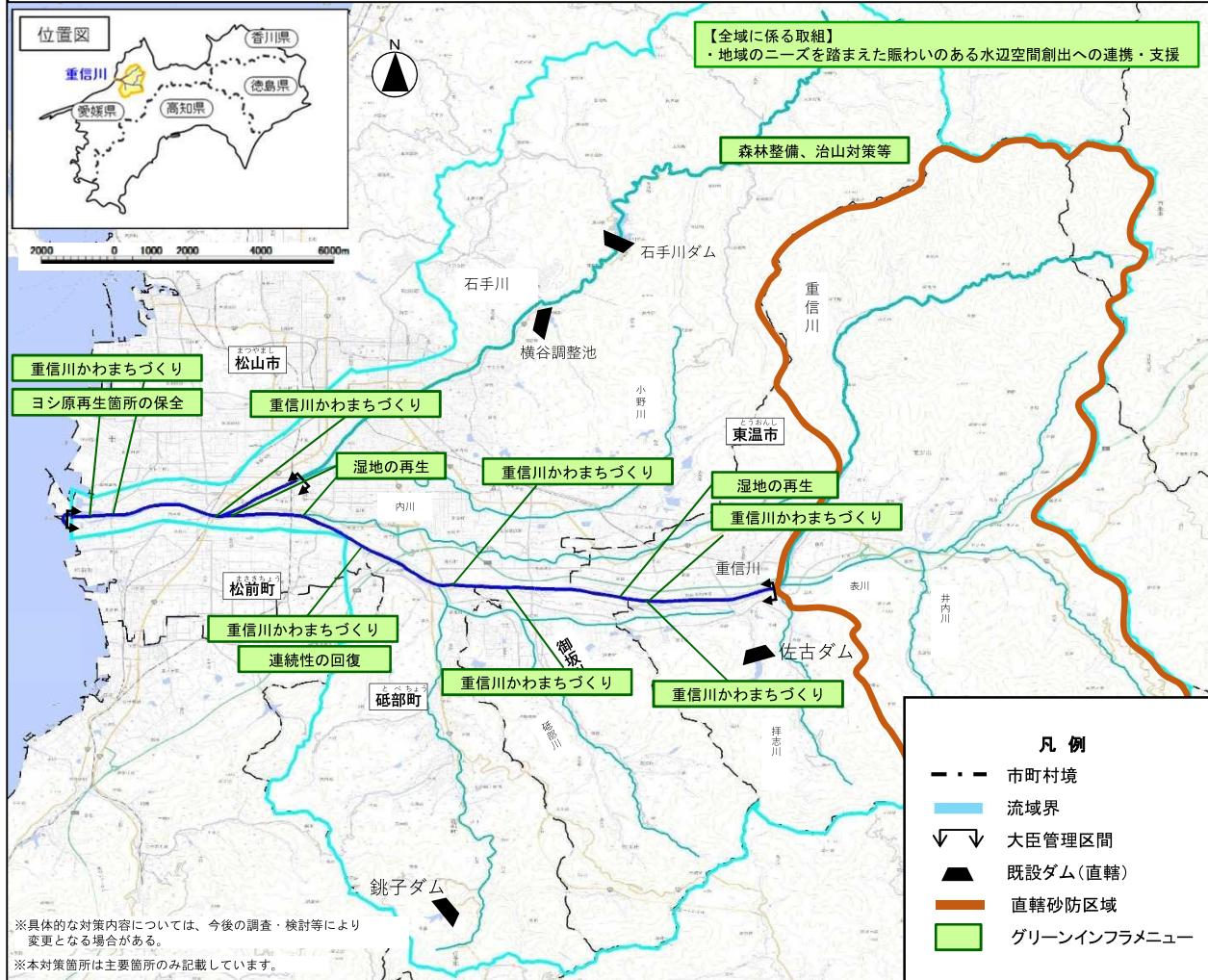
重信川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『泉・霞の再生を軸とした水と緑のネットワークの形成』

○重信川は、伏流しやすくその一方で湧水がある砂礫質の河原、河床変動や流路移動が生じやすい河道、渴水時・洪水時の魚類等の避難の場等として、重信川の厳しい環境を補完する霞堤等の特徴的な環境を持っている。これら特徴的な環境にはそれに依存する動植物が生息、生育、繁殖し、また、河川景観が形づくられている。重信川の河口域の干潟は環境省の「シギ・チドリ類重要渡来地域」及び「日本の重要湿地500」に選定されており、鳥類にとって良好な生息環境となっている。また、中流域では、渴水時には瀬切れが発生するが、霞堤等により堤防の内と外の支川や泉などの自然環境を繋げることで多種多様な動植物の生息空間の確保を行ってきた。

○社会の成長に伴い、かつての水辺の原風景が失われつつあるなかで泉・霞の再生を軸とした水と緑のネットワークを形成するため今後概ね20年間で霞堤における湿地の再生、流入支川の多自然化、河畔林の整備等を実施するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●自然環境の保全・復元などの自然再生

湿地の再生、連続性の回復、ヨシ原再生箇所の保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

重信川かわまちづくり

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- 流域関係者とのフォーラムの開催（環境・防災）
- 開発霞ワーキング会議の実施（霞・泉の再生・保全の検討）



ヨシ原再生箇所の保全



泉の再生（松原泉）



かわまちづくり



流域関係者とのフォーラムの開催

重信川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

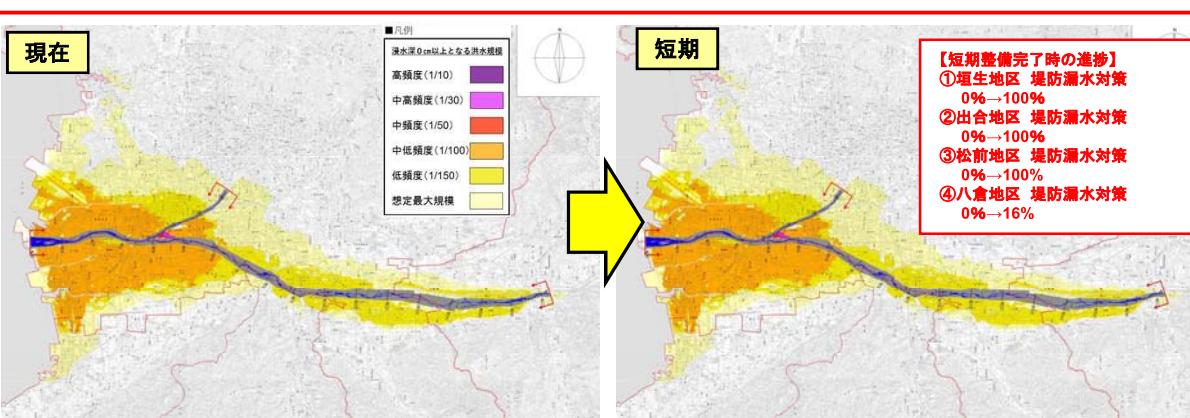
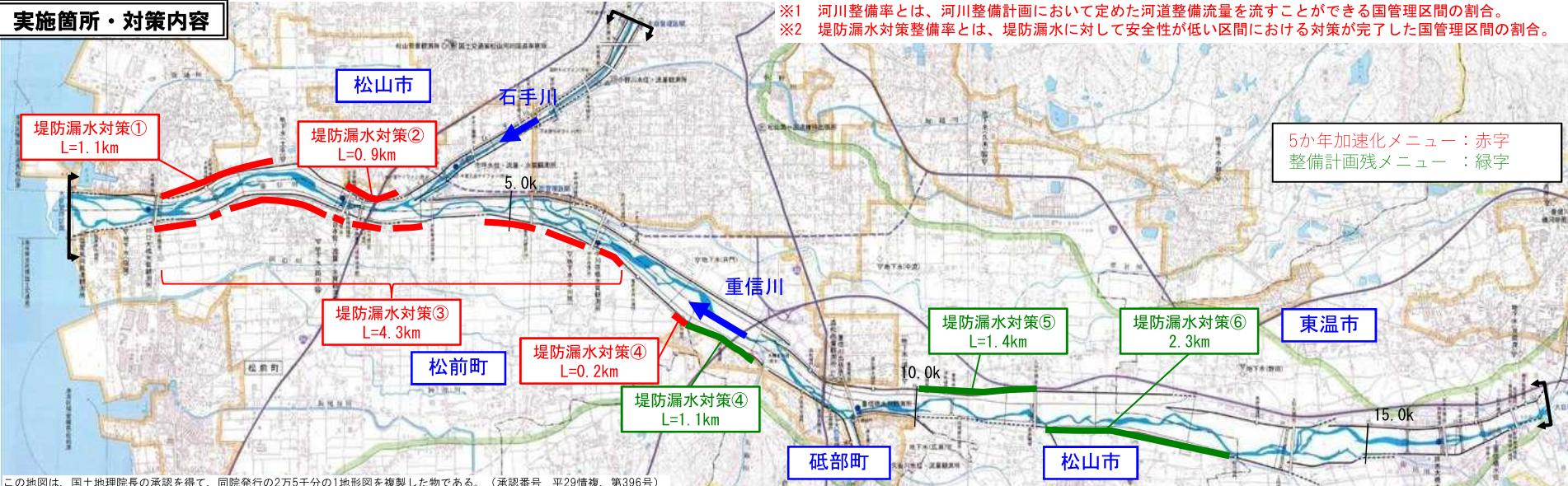
○重信川においては、戦後最大の平成13年6月洪水と同規模の洪水を流下させるための河川整備を実施。

○垣生地区・出合地区・松前地区の堤防漏水対策事業がR7までに完了に伴い、同地区の堤防決壊による浸水被害を軽減することが可能。

短期整備（5か年加速化対策）効果：河道整備率※1 約100%→約100%（内、重信川：約100%→約100%、石手川：約100%→約100%）

堤防漏水対策整備率※2 約24%→約68%（内、重信川：約19%→66%、石手川：約100%→約100%）

実施箇所・対策内容



注意①：本リスクマップは、重信川の国管理区間を対象として、各降雨規模で浸水深0cm以上となる範囲を示したものである。

注意②：リスクマップの着色部分は外水氾濫（HWL：堤防断面不足破堤、越水による破堤（最大浸水相当））を想定したのであり、侵食破堤、浸透破堤、内水破堤、津波浸水被害を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

注意③：短期のリスクマップは、「氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策」の内、国の河川事業の効果を示したものである。

注意④：令和4年3月現在の検討中のものであり、今後変更の可能性がある。

区分	対策内容	区間	工程		
			【5か年加速化対策】 短期（R3～R7） 約1/50	中期（R8～12） 約1/50	中長期（R13～R19） 約1/50
氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策 堤防漏水対策 約24%→約68%		①地区（垣生）	R3 100%		
		②地区（出合）		100%	
		③地区（松前）		100%	
		④地区（八倉）		16% 100%	
		⑤地区（南高井）		100%	
		⑥地区（久谷）			100%

注意①：スケジュールは現在実施している「5か年加速化対策」の予算が今後も同様に継続された場合を想定している。

注意②：今後の予算・事業進捗状況によって当表の内容は変更となる場合がある。

注意③：今後、気候変動を踏まえた更なる対策を推進していくことも検討中である。

重信川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

既設最大洪水等に対応しが
国土開拓府の
河川の整備（貢献）



整備率：100%

（昭和50年後）

農地・農業用施設の整備



3市町

（令和3年度末時点）

沿岸・農業用施設の整備



1施設

（令和2年度実施分）

山林の保水機能向上および
土砂・森林災害対策



治山事業の
実施箇所
（令和3年度実施分）

砂防護岸施設の
整備箇所
（令和3年度完成分）

立候補化計画における
防災指針の作成



0市町

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪積浸水想定
区域 3河川

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 1団体

（令和3年11月末時点）

高齢者等適齢の
実効性の確保



安堵施設
数 795施設

直営施設
数 62施設

（令和3年9月末時点）

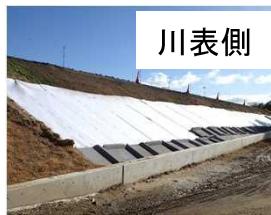
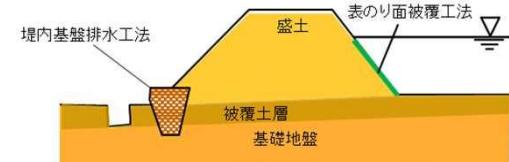
被災者支援
施設
数 5市町

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防漏水対策

対策イメージ図

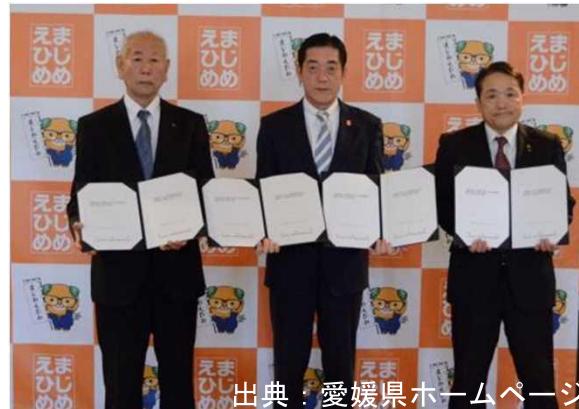


川裏側

河川堤防の漏水に対する詳細点検の結果
を踏まえ、堤防漏水の発生状況、被災履歴、
被災規模、現在の堤防が有している
背後地の社会条件等も考慮し、優先度が
高い区間から計画的に堤防の漏水対策を
実施する。

被害対象を減少させるための対策

不動産関係業界と連携した水害リスク に関する情報の解説



出典：愛媛県ホームページ

愛媛県は、災害時における県民の避難行動の支援を図るために、不動産取引の機会に、洪水浸水想定区域図等を提示し、マップ上の物件の位置等を説明するよう愛媛県宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会愛媛県本部と協定を締結。

排水活動の強化



排水ポンプ車の導入により排水活動の
強化を実施する